

清水港は特定重要港湾に指定されており、清水地区を通過する静清バイパス沿線に立地しています。

静清バイパス 清見寺ICに近い興津埠頭周辺で取り扱うコンテナ貨物は、静清バイパスの供用延長が延伸すると共に増加しています。その結果、平成元年からのコンテナ取扱い個数は約4倍に増加し、平成18年度コンテナ取扱い個数は全国第7位を誇ります。

清水港では、静岡県西部地域で生産されるバイク・自動車部品等の金属機械工業品の取扱いが多く、コンテナ化されて海外へ輸出しています。

また、清水港港湾計画では興津埠頭コンテナターミナルの拡張計画があり、今後も静清バイパスと清水港の関わりの強化が望まれます。

### 清水港全景

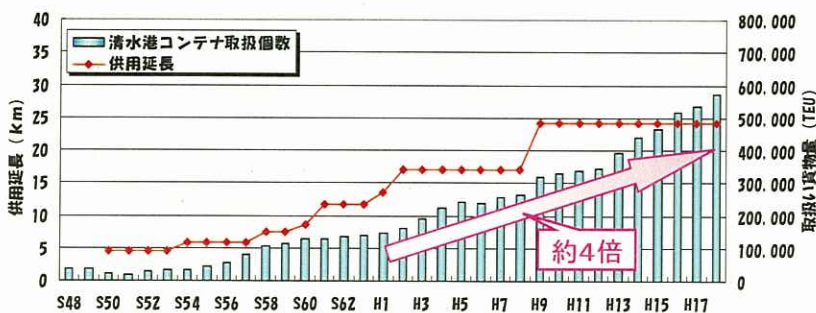
※資料：清水港港湾計画



### 清水港取扱い貨物量の変化

※資料：清水港港湾統計調査(昭和48年～平成18年)

静清バイパス供用延長と清水港取扱い貨物量の変化



※TEU: 20フィートタイプのコンテナに換算したコンテナ個数の単位

清水港取扱い主要品目(平成18年輸出)

